

### 第3回鳥取市青谷町地域生活交通協議会議事概要

日時：令和3年3月25日19:00～

場所：青谷町総合支所第2-3会議室

#### ○質疑、意見等

##### ① 鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針(案)による公共交通への影響が懸念される。

⇒青谷町地域に関しては、当面、校区適正化の配置による大きな影響はないと考えます。

校区適正化方針(案)で学校統合される対象地域が複数あるようだが、地域によって公共交通の実態が異なります。青谷町地域に関しては、例えば将来、小中学校が統合され、義務教育学校になるということがあるかもしれないが、現在、中学校、小学校はバス路線の運行ルート中に含まれているので、特に必要ないと考えます。

他地域については、それぞれ学校の位置や通学の範囲が様々なので、どういった方法がその地域に最も適しているかはそれぞれの地域で判断いただくことになると思います。

##### ② 現在の路線バスの朝夕の便は通勤通学のため、小学生や一般の方が乗車しており、大型バス3台で運行している。

提案では将来、大型バス2台で運行になるとあるが、ダイヤや運行ルートの変更による影響が懸念される。

⇒具体的なシミュレーションを行っていないが、ダイヤが例えば先発時刻が10分程度早くなると、それに伴って、学校の到着時刻も早くなり、最後便で学校に到着する子供の時間も若干遅くなるというようなことが考えられる。しかし、これを解消するために大型バスをもう1台用意するとなると、経費や運転手の確保も必要になり、かなり大きな負担になる。ダイヤ変更による時間調整が必要となる場合は、保護者と協議させていただき、なるべく影響が大きくなりえない効率のよい方法を検討し、大型バス2台体制で取り組みたいと考えています。

##### ③ 日中の便についてタクシー事業者との調整は今後になると思うが、仮に本協議会で検討した内容で

タクシー事業者が対応できないということであれば、共助交通での対応を検討する手法しかないと思う。

⇒路線バス事業者から路線を撤退するという意向はまだ示されていないので、二つの案で今からすぐに運行するというわけではないため、タクシー事業者も現時点では対応が困難でも、3年先5年先の将来を見据え、準備等を行っていただければ継続的に協議させていただき、実現に向けて協力していただけるものと考えています。

##### ④ 公共交通に取り組んでいる先進地域の事例も参考に検討してはどうか。

⇒地域の実態や地域ニーズに違いがあると思うが、いろいろ先進事例等も参考にしながら、何が青谷地域に適しているかを検討したいと考えています。

##### ⑤ 交通手段としてタクシーを利用することが多くなるが、利用者負担の軽減についての考え方はどうか。

⇒例としてタクシー助成制度を採用する場合、65歳以上の高齢者や運転免許証を所持していない方、障害を持っておられる方などに対して、補助申請をいただいて回数券のようなものを発行し、料金の負担を軽減する手法が考えられます。

##### ⑥ 今後の検討スケジュールはどうか。

⇒本日の提案に基づいて来年度の会議等のスケジュールを策定する。それまでに交通事業者等からいろいろ情報を入手して検討し、半年ぐらいいを目途に運行計画案を策定したいと考えている。いろいろな事業のプランを検討するなかで、例えば運行の実証実験を実施するということになる、来年度(令和4年度)の予算要求が必要になるため、10月ごろまでに運行計画の検討を完了したいと考えています。また半年後に運行計画の結論を出すのではなく、今後の将来人口、利用者の要望、他地域の実際に共助交通の運行の状況など、いろいろな情報を提供し、プラン等の改善点を検討しながら進めていくことが必要と考えます。